

大阪自治労連第38回定期大会（9月7日）



声を上げる

仲間とつながる

未来へつなぐ

9月7日、「大阪自治労連第38回定期大会」を大阪市内で開催し、「声を上げる 仲間とつながる 未来へつなぐ」をスローガンに、府内の自治体及び関連する労働組合から代議員と傍聴者が出席しました。

大会では、議長団を選出後、坂田委員長の開会あいさつ、自治労連本部の橋口書記長と大阪労連の嘉満事務局長から来賓あいさつ。仁木書記長から議案提案、32人の代議員から活発な討論をふまえ、全ての議案が全会一致で採択され、丹野副委員長の閉会あいさつと「団結がんばろう」で締めくくりました。

(2・3面に特集記事)

全国のさまざまな活動を聞いて、がんばっていると実感



藤本 輝さん 吹田水労

初めて参加しました

自治労連 第47回 定期大会

8月24・25日 北九州市

皆さんの発言から熱い思いがリアルに伝わってきた



松下 一美さん 堺市職労



府職員のガイドで、1時間30分程度じっくり無料で学べる全国的にもめずらしい防災施設です

知らないこと
いっぱい！
みんなで防災を
学ぼう



1988年度採用／土木職
道路室 道路環境課

西村 浩美さん



1988年度採用／土木職
西大阪治水事務所新名
川出張所

不死原 正さん



2005年度採用／土木職
茨木土木事務所新名
川出張所

中森 貴大さん

第一部は、大阪府「津波・高潮ステーション」を見学し、府職員のガイドで、以前に大阪を襲った高潮や、想定より早まる可能性が高い南海トラフ地震をはじめ、大災害時の対応など防災知識を学びました。施設内にあるダイナキューブ（津波災害体感シミュレーター）は、前面・左右側面・床面の4方向に映像と音・振動による津波災害の恐ろしさを体感し、地震発生時にどんな行動をとるべきかを考えました。

第二部は、大阪科学技術館で「府民・職員ミーティング」を開催。府都市整備部の職員3人（西村さん・不死原さん・中森さん）から「水防業務とは」「災害から府民を守るため」「大阪府の維持管理予算」をテーマに大阪府の仕事を説明し、府民と職員が小グループで話しあって意見を共有しました。「維持管理の予算を増やすべき」「技術職員の高齢化も深刻、技術の継承が課題」「やりがい搾取をなくし人材確保につな

津波・高潮を学べる防災施設

府職員の報告に府民から共感

1923年9月1日に発生した関東大震災を教訓に、災害への意識を高めて一人ひとりが備えるため、「9・1防災の日」を定めています。府職労は8月31日、「見て、知って『水』の防災を考えよう府民・職員ミーティング」を開催し、府民の皆さんと府職員が参加しました。

公務の仕事を知って 伝える大切な取り組み

「これまで災害を経験し、防潮堤や水門が作られたと初めて知った。府民の安全のために日夜働いている職員がいるから守られている」「大阪の安全は府や自治体の努力で支えられている。もっと実態を知ってもらう必要がある」「人の確保や人材育成に取り組まないと机上の空論になる危機感を持ちました」などの感想が多数寄せられています。



小松委員長は「これからも自分たち自治体の仕事を府民に伝えて、一緒に考える取り組みを企画していきたい」と話しています。10月18日には、オンライン版の「府民・職員ミーティング」も開催予定です。

大阪府職労8・31府民・職員ミーティング

府民とともに水の防災を考えよう